

花園大学 学生のおすすめ図書

v.1.0 2015 MARCH

図書館司書資格課程を学ぶ本好きの学生たちが、HUMIC所蔵の本の中から選んだ、皆さんにぜひ読んで欲しい本のリストです。コメントが付いています。図書館1階の「おすすめ図書コーナー」に配置してあります。貸出することもできます。貸出期間は1週間、貸出延長はできません。

花園大学情報センター(図書館)



戦国武将100話

中嶋繁雄著
立風書房 1978

文学部 日本史学科 2回生

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康などの逸話が紹介されており、武将たちの人柄や生き方がわかる本です。戦国時代が好きな方、そうでない方も是非読んで下さい。

<請求記号>
210.4/N 34



沸騰!図書館：100万人が訪れた驚きのハコモノ

樋渡啓祐[著]
KADOKAWA 2014

文学部 日本史学科 2回生

話題?の武雄市図書館について市長の側から視点を知ることができ、より多角的な視点で武雄市図書館について考えられると思います。

<請求記号>
角川oneテーマ
21/D-23



勘違い敬語の事典：型で見分ける誤用の敬語

奥秋義信著
東京堂出版 2007

文学部 日本史学科 2回生

敬語は苦手だという方にオススメです。気をつけているのだが、本当にこれで正しいのかと疑問に思う方にもオススメです。

<請求記号>
815.8/O 54



ぼくらの七日間戦争

宗田理[著]
角川書店 1985

文学部 日本史学科 2回生

「ぼくら」シリーズの原点。管理からの「解放」を掲げる子どもたちは大人に反旗を翻し、戦う。暴力教師をこらしめる、誘拐された仲間の救出、果ては市長の汚職を暴く・・・爽快のストーリー

<請求記号>
角川文庫/そ-
003-001



明治のころ：モースが見た庶民の暮らし

小林淳一, 小山周子編著
青幻舎 2013

文学部 日本史学科 3回生

明治の日本人の暮らしぶりが写真で表現されていて、当時の暮らし、特に私生活に関心を持つことができ、また、当時扱っていた個人的な品にも興味を持ってました。

<請求記号>
210.6/Ko 12



夢の見つけ方教えてみる：タイマン先生と悪ガキどもの心意気

今村克彦著
祥伝社 2005

文学部 日本史学科 3回生

自分の居場所がない時や完全燃焼させてくれる事を書いてある実話をもとにしてくれている本です。まえがきにも書いてある通り、日本の若者を元気にしてくれている本だと感じました。

<請求記号>
370.4/I 44



呪術と占星の戦国史

小和田哲男著

新潮社 1998

文学部 文化遺産学科 2回生

真剣に占いや呪いを信じていた戦国武将の姿を見ることができます。今とは違う占いのとらえ方が垣間見えて興味深かったです。

<請求記号>

210.47 / O 93



白いへび眠る島

三浦しをん[著]

角川書店 2005

文学部 文化遺産学科 4回生

わくわくが止まらない作品。この本の世界にひきこまれて、あたかも自分がそこにいるかのように。この一冊を読み終わるまでに、わくわくや、ハラハラなど表情が変わるのであきません！！ぜひ一度、読んでもらいたい。

<請求記号>

角川文庫/み-031-003



はてしない物語

ミシャエル・エンデ作

岩波書店 1982

文学部 文化遺産学科 4回生

ミシャエル・エンデは『モモ』等で有名な作家ですが、この本が一番好きです。内容は、主人公の少年・バスチアンが本の世界に入り込んでしまう冒険物語で、彼は、本の一読者という立場から、本の中の世界の命運を握る存在になり、長い長い冒険をすることになります。本はハードカバーでページ数も多く、手軽に読める文庫本に手を伸ばしてしまいがちですが、印象的な二色刷りとあかがね色の表紙のこの本の装丁自体にも秘密があるので、読むなら絶対にこちらをオススメします。いつの間にか自分もこの物語に入り込んでしまうという不思議な感覚が味わえますよ。

<請求記号>

909.3/E 59



恋の手ほどき・愛のうた：万葉集から

北原美紗子著

新典社 2001

文学部 文化遺産学科 4回生

和歌、と聞くと、皆さんは難しく思ってしまうかもしれない。けれどとにかく一度、この本を手にとってページを開いて欲しい。ちなみに私は51ページの歌が、可愛らしくて好きだ。和歌にも様々な分類がある。この本は、その様々な分類の中から、「恋」の歌を集めたものである。恐らく恋の歌こそ、皆さんが一番取っ付きやすいだろう。恋する気持ちは、どれほどの時代を経ても変わらない。愛しい人は、愛しいものだ。古の人々の想いを、是非感じて頂きたい。

<請求記号>

911.12/Ki 64



クララは歩かなくてはいけないの？：少女小説にみる死と障害と治癒

ロイス・キース著

明石書店 2003

文学部 日本文学科 1回生

日本人にも馴染み深い物語に登場する少女を取り上げた、鋭い問題提起の題名にはっとさせられた。本書は、『ハイジ』や『若草物語』など19-20世紀に書かれた少女小説の中に息を潜める、生涯と死生について分析している。なぜ彼女たちは「障害」を克服しなければならないのか。なぜ私たちは「障害」からの回復に奇跡を覚えるのか。難しい問いかけだが、是非この本を読んで一度考えてみてほしい。

<請求記号>

909.3/Ke 28



君主論：新訳 改版

マキアヴェリ著

中央公論新社 1995

文学部 日本文学科 1回生

マキ・アヴェリの君主論から学ぶものはとても多いです。名言集のようなもので読んでもいいのですが、こちらのほうが詳しく分かりやすく書いています。

<請求記号>

中公文庫/B-014-04



オオカミ：その行動・生態・神話

エリック・ツィーメン著

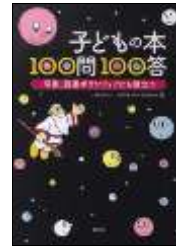
白水社 2007

文学部 創造表現学科 1回生

オオカミは最上級の動物である。野生のオオカミほど人間に恐れられ、憎まれた動物はいないし、馴らされたオオカミであるイヌほど人間に愛された動物もない。読み物としても面白く、オオカミという生き物をより一層好きになれます。「そして、動物と学問では比べられないかもしれないけど、真摯に向き合う事の大切さが身にしみます。」

<請求記号>

489.56/Z 4



子どもの本100問100答：司書、読書ボランティアにも役立つ

大阪国際児童文学振興財団編

創元社 2013

文学部 創造表現学科 1回生

きっと図書館司書になったら、時には自分では考えもしないような質問をされるだろう。この本を読んでそんなふうになりました。

<請求記号>

019.5/O 73



ディズニーとライバルたち：アメリカのカートゥーン・メディア史

有馬哲夫著

フィルムアート社 2004

文学部 創造表現学科 2回生

ディズニーの歴史だけでなく、他社のアニメーション会社も載っているので、アニメの歴史を知りたい方にはオススメです。特に私がくいついたのは、「ミッキーマウス」の前任のキャラクター「オズワルド・ザ・ラッキーラビット」が載っていたことでした。

<請求記号>

778.77/A 72



文学部 創造表現学科 3回生

「表現の自由」が奪われ、本が狩られるようになった日本の話です。ラブコメですが、表現の自由とは何か、を考えさせられる本です。マンガにも、アニメにも、映画にもなっているので、とっかかりやすそうな所からぜひ！

<請求記号>



第2図書係補佐

又吉直樹[著]

幻冬舎 2011

文学部 創造表現学科 3回生

お笑い芸人ピース又吉が、太宰治等の多くの作家が書き上げた作品と自らを重ね合わせる内容。淡々と語り明かすような文面に魅力を感じる本です。

<請求記号>

幻冬舎よしもと文庫/Y-17-1



のぼうの城 上下

和田竜著

小学館 2010

社会福祉学部臨床心理学科 1回生

何度読んでも面白いです。

<請求記号>

小学館文庫/わ-10-1



証言記録 兵士たちの戦争 1-7

NHK「戦争証言」プロジェクト著

日本放送出版協会 2009

社会福祉学部臨床心理学科 1回生

出征していた兵士たちの証言で当時の過酷な戦地での現状を知ることができます。

<請求記号>

210.75/N 71/1